

平成29年度 長崎県大学図書館協議会総会議事要旨

日 時： 平成29年7月3日（月）14：25～16：15

会 場： 佐世保工業高等専門学校 管理・一般教科棟2階 大会議室

出席館： 11館（21名）、欠席館なし

長崎県立大学シーボルト校（武藤・森・有安）・佐世保校（石田・豊村）、長崎総合科学大学（山川）、活水女子大学（奥村）、長崎純心大学（岩崎）、長崎国際大学（飯島）、長崎ウエスレヤン大学（天野）、長崎女子短期大学（伊藤）、長崎短期大学（岩崎）、佐世保工業高等専門学校（中村・一橋・川副・岳山）、長崎大学（中田・満本・近藤・西村）、長崎外国語大学（別所）

オブザーバー：長崎県公共図書館等協議会（北川）

開会

1 総会成立

全館出席のため、総会が成立するとの報告及び長崎県公共図書館等協議会からのオブザーバー出席についての説明があった。

2 会場館挨拶

佐世保工業高等専門学校図書館 中村館長より挨拶があった。

3 代表幹事館挨拶

長崎大学附属図書館 中田館長より挨拶があった。

4 自己紹介

長崎県立大学から着席順に自己紹介を行った。

5 議長の選出

慣例により、会場館である佐世保工業高等専門学校図書館 中村館長が議長に選出された。

6 議題

(1) 平成28年度事業報告、平成28年度決算報告及び監査報告について（資料1・2）

平成28年度事業報告及び平成28年度決算報告について、事務局担当（長崎大学 西村班長）より、資料をもとに説明があった。平成28年度監査報告について、長崎外国語大学 別所事務室長補佐より適正との報告があり、ともに承認された。

1) 長崎県公共図書館等協議会との合同研修会としての実務研修会は、長崎県立大学シーボルト校を会場に、「国立国会図書館を使いこなす」、「データベースとしてのTOOLiの紹介」という2つのテーマで開催し、参加者は75名（大学13名、公共等62名）であった。

2) 「リポジトリの構築・運用について」をテーマとした実務研修会は、長崎大学附属図書館を会場とし、長崎大学附属図書館の下田氏によるSPARC JAPANセミナー2016の報告、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学によるリポジトリ構築・運用事例報告、参加者による意見交換を行った。参加者は、9大学15名であった。

3) Library Lovers' Nagasaki 2016 を長崎県大学図書館協議会の新規事業として実施し、加盟館全館が参加した。
合同企画の「脱出ゲーム おまがり～ずの名前を取り戻せ」には、10大学が参加し、参加者は約1,000名、内脱出成功者は525名であった。

4) 継続課題の協議会ホームページについては、長崎大学サーバにログイン機能以外の全てを移行でき、セキュリティの問題は解決した。

5) 継続事業としていた、学術機関リポジトリ構築の支援については、実務研修会及びアンケート調査を行い、平成28年度中に新たに佐世保工業高等専門学校、長崎ウエスレヤン大学の2校が公開し、活水女子大学、長崎純心大学が準備中で公開間近となった。

6) 県内公共図書館との相互協力の促進として、合同の実務研修会を開催した。

(2) 平成29年度役員館等(案)について(資料3)

平成29年度役員館等(案)について、事務局担当(長崎大学 西村班長)より、ローテーション表をもとに説明があり、平成29年度分の役員館等について承認された。

平成28年度の本総会において、役員館の任期を会計年度と合わせるよう会則の改正等を検討していただきたいとの要望が出されていたが、幹事館3館で検討した結果、会則変更は行わず、今年度の役員館任期は、平成29年7月4日から平成30年の本総会当日までとすることとなった。

また、代表幹事館は、今年度の幹事館3館(長崎大学、長崎純心大学、長崎国際大学)での協議の結果、長崎大学となった。

(3) 平成29年度事業計画(案)及び平成29年度予算(案)について(資料4・5)

平成29年度事業計画(案)及び平成29年度予算(案)について、事務局担当(長崎大学 西村班長)より資料をもとに説明があり、ともに承認された。

1) 実務研修会①長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

期 日：平成29年8月28日(月)

会 場：長崎県立大学シーボルト校

テーマ：法令等の調べ方／読書バリアフリー(仮)

講 師：国立国会図書館／伊藤忠記念財団(子ども文庫助成事業・電子図書普及事業)

2) 実務研修会②

期日・会場・講師等：未定

テーマ：未定(利用者教育、ラーニング・コモンズ、法令情報、電子コンテンツと著作権等)から検討予定

3) 継続事業①Library Lovers' Nagasaki キャンペーン

昨年度に引き続き実施する。ワーキングメンバーは昨年同様に募る予定。

4) 継続事業②学術機関リポジトリ構築の支援

ほぼ全館公開済み或いは公開直前であるので、今後は要望があれば情報交換会等を企画する。

5) 継続事業③県内公共図書館との相互協力の促進

実務研修会を長崎県公共図書館等協議会との合同実務研究会として実施する。

本協議会で取り組んでいく新規事業について、今後検討していくこととなった。

7 報告事項

(1) 承合事項はなかったため、各館の当面する諸問題についての報告がなされ、そのことに関する各館からの事例報告がなされた。

8 その他

「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」（仮称）建設工事について

長崎県立長崎図書館 北川館長より、資料に基づき、説明があった。建物の躯体自体は、平成30年度の1月（2019年1月）完工予定となっている。一体型図書館ということで建物は一つで開架図書は県と大村市の図書が混配になるが、財産区分は別なのでシステムを統合しICタグを一元的に運用するために、システム統合のオペレーションに時間をかけている、とのことであった。

図書を移転してシステムを立ち上げるまでは出納は完全に停止させるため、大学との関係では、平成30年度の1月（2019年1月）前後から県内協力車の運行と協力貸出しは完全停止とする予定であり、本年12月中には貸出停止期間や協力車の運行再開のスケジュール等を出したいと考えている、とのことであった。ただし、完全停止期間中も資料課では旧システムを並行して稼働させ、寄贈等受入れは続ける予定である、とのことであった。

9 次年度会場校挨拶

長崎外国語大学 別所事務室長補佐より挨拶があった。

閉会

以上をもって議事を終了した。

以上